

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	救急医療事業		コード	02-02-06-05	担当課	保健課健康係
事業実施期間	昭和49年10月1日～		担当者	白髭 由美子	電話	64-1820
総合計画 事業(政策)体系	大項目	健康でやさしさあふれるまちづくり				
	中項目	健やかで生き生きしたまちづくり				
	小項目	健康づくり				
	施策	健康づくりの基盤整備				

事業について	
目的	救急医療体制の充実により、救急患者に対する医療を確保し、健康で安心・安全な生活の環境を整備する。
対象 (誰のために)	救急医療を必要とするすべての人
内容	和気医師会への在宅当番医事業の委託 県南東部圏域5市4町が共同で整備する二次救急体制整備に伴う経費の負担

事業の結果			
実施項目	17年度		
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
在宅当番医療機関受診者数	2,199 人		
二次救急医療機関受診者数	813 人		

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	3,400	国県補助金等		直接事業費		国県補助金等		直接事業費		国県補助金等	
	人件費	756	受益者負担		人件費		受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	4,156	市債	4,156	合計	0	一般財源等	0	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.11	人		人		人
結果指標①	結果指標名	救急医療機関受診者数				
	結果指標量	3,012				
	単位	人				
	対前年比	0.00%				
	事業費	4,156,000	円		円	
	単位当たりコスト①	1,380	円		円	
結果指標②	結果指標名					
	結果指標量					
	単位					
	対前年比	-				
	事業費		円		円	
	単位当たりコスト②		円		円	

事業の成果		
成果指標名	救急受診者数	式又は説明
成果指標量	17年度	
	3,012	
対前年比	-	0.00%
到達目標値	-	到達目標年度
		-

事務事業の評価		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等: 医療法
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている

課題認識
地方公共団体が体制整備をするよう医療法で規定されているため、妥当な事業である。また、休日の救急患者に対して、適切な医療の確保が図られている。

在宅当番医制運営は最も身近な和気医師会に委託しており、経費は毎年の備前市と和気町の人口比率によって分担を決めている。また、二次救急医療負担金は、県南東部圏域5市4町で応分の負担をしている。従って、単位あたりコストは適正と考える。

救急医療が必要な市民に適切な医療を提供しており、有効な事業である。

総合評価		評価区分
コメント	少子高齢化などにより救急医療を必要とする市民は増加している。市民の救急医療に対するニーズを踏まえながら救急体制の推進を図る。	<A~E>
		C

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合	
翌年度	結果指標量① 3,000人	結果指標量②
目標値	成果指標量	

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	和気医師会・県南東部圏域救急医療体制推進協議会等の関係機関と連携を密にする。	随時	患者のスムーズな受け入れ体制の充実が図れる

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。